

## ○教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

### (1) 教員養成の目標

本学は、教育の理念を「感謝と奉仕に生きる人づくり」に置き、教育の目標を「女性の科学的教養の向上と優雅な性情の涵養」に定め、この「建学の精神」の基に、教員養成についても多くの実績を築いてきた。

この伝統の下、学部・学科の正課教育課程は元より、先駆的に現職教員のための聴講生課程や研修生課程を開設するなどして、豊かな人間力と優れた教師力を備えた多くの人材を広く教育界等に送り出してきた事実は、社会的にも極めて高く評価されている。

グローバル化とローカリゼーションが相克する社会の中で時代は激しく変化しているが、いつの時代も教育が目標とするものは、現代社会及び近未来社会に適合しつつ、主体的に生き抜くことの出来る一人ひとりの育成にある。

本学の教員養成は、教育に関する理論と実践についての教育研究を行うことによって、この一人ひとりの育成に貢献することができる心構え・知識・技術・態度を身につけ、自他に対する教育力を培い、特に教育・文化等の分野において活躍することができる有為な教育者の養成を目標としている。

### (2) 当該目標を達成するための計画に関すること

本学の教育研究は、教育に関する理論と実践を極めて多岐にわたる教育現場において応用できる実学を旨とし、全学教職員一丸となって学部・学科と教職センターが連携して教育・支援できる複合的指導体制を整えている。

特に教師としての使命感・プライド、授業力、子ども理解・指導力、学級経営力、対保護者・地域との関係構築力等、常に時代が求めている豊かな人間力と優れた教師力を備えた教員の養成に取り組むことができるよう、各学年次の到達目標を示しながら教職課程を編成、これに基づき計画的に実施している。

例として、大学（学部）は、全科目を学習段階に応じて8つの Semester にわたり系統的に配置している。

#### □第1～2 Semester

建学の精神をファンダメンタルズとし、この上に総合教育科目群と専門教育科目群を同時並行的に開講している。このカリキュラム編成の思想と実際は、第8 Semester まで一貫している。

#### □第3～4 Semester

継続的に学生としての基礎的学習に取り組ませると共に、介護等体験、教職等インターンシップの履修を通じて就業経験を重ねさせ、段階的に免許取得の意志を固めさせるようにしている。

□第5～6セメスター

教育実習についての事前指導が始まる。実習報告会等を聴講し、本実習に向けての準備段階に入る。学部後期課程に入るこの時期、特に教育に関する理論と実践を相互に関連づけながら学修できる指導を展開している。

□第7～8セメスター

本実習に参加し、教職実践演習の履修や事後指導の受講等を通して、特にこの時期、教員としての必要な資質と能力が有機的に形成されてきているかを確認させる機会としている。また、教員生活を円滑にスタートできるよう、大学生活の集大成としてこれまでの学習過程を統合化し、十分な学修成果を発揮することのできる心と力を育むことに注力している。